

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	大動脈弁狭窄症の診断および治療介入時期が患者の予後に与える影響			
② 実施予定期間	実施許可後 から 2027 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で重症大動脈弁狭窄症(AS)に対して経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)による治療を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2021 年 1 月 1 日 から 2023 年 12 月 31 日 追跡期間：2025 年 6 月 30 日まで			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第二内科			
⑦ 研究責任者	氏名	小室 あゆみ	所属	山口大学医学部附属病院 第二内科
⑧ 使用する情報等	年齢、性別、体重、BMI、NYHA心機能分類、併存症、既往歴、生活歴、内服薬、手術リスクスコア、血液検査、心エコー図検査報告書の所見、転帰			
⑨ 研究の概要	高齢化が進むにつれ、大動脈弁狭窄症（AS）という病気が増えています。この病気が進行すると、息切れやむくみなどの心不全を引き起こすことがあります。最近では、カテーテル（細い管）を使って人工弁を留置する治療法（TAVI）が登場し、高齢の重症ASの患者さんでも治療できるようになりました。TAVIによって多くの方が元気に退院できますが、約4人に1人は術後に心不全で再入院してしまうという報告もあります。この研究の目的は、「診断された時期」と「治療した時期」が、その後の予後にどれくらい影響するかを明らかにすることです。			
⑩ 実施許可	実施許可日	2025年 10月 24日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	第二内科の奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二内科 担当者：小室あゆみ			
	電話	0836-22-2248	FAX	0836-22-2246

